

めちぜん かわらばん

杣山城跡を 訪ねる

福井県は福井市方面を「嶺北」、敦賀市や小浜市方面を「嶺南」と区分されますが、南越前町はその境目に位置する故に、古くから天然の要塞として町のあちこちに城や砦が建設されました。その中の一つ、「杣山（そまやま）城」は昔から「北の比叡山」とも称され、全国的にも珍しい南北朝期の築城を痕跡として今に伝えています。

豊かな自然を残す杣山城跡周辺は現在、ハイキングコースなどで活用されていますが、国の歴史を省みるにあたってももう一度見直されてもいいのではないかと思います。（川村）



左手にある山の奥に、城跡が残っているとのこと

まちづくり 人掛り 必殺



はす工房花里音所長の青木さん。地域住民の皆さんと力を合わせて作り上げてきた手仕事場では、染物等の工芸にパン、お菓子まで



田倉でトマトをつくっている彦さん。大きすぎるもの、傷がついているものなんかは実は美味しいとのこと。彦さんイチオシの豪快な規格外トマト。塩いらずの甘さ！

隊員2号のつぶやき：今庄そばまつりでは、「めちぜん地域おこし協力隊」の字を背に参加しました。お声掛けくださった皆さん、おそばをくださった皆さん、ありがとうございました。

今庄宿プロ ジェクト開始



事前のアンケートでは、一般から35件、小中学生から78件のご意見をいただきました

6月1日、今庄宿プロジェクトの住民代表者会・全体会が始まりました。
今庄にお住まいまたは勤務で、部会員の公募に手を挙げてくださった総勢50名を超える方が、昭和会館に集まりました。

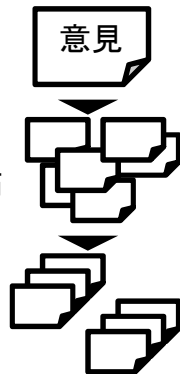
ワークショップでは、人のあたたかさ、歴史のある街並みや建築等の魅力、若者が少ない、空家が多いといった課題、住民自身が楽しく暮らせる・訪れる人に愛される町にしたい！といった思い等、いくつものグループで共通する意見が見られました。
まずは参加者の皆さんが今庄を「再発見」できた会になりました。



ワークショップの進め方

地域の魅力や課題を再発見し、住民主体のまちづくりをはじめませんか？

1. 参加メンバーがそれぞれの意見を、ポストイットに、大きく・ヒトコトで書く
2. 書いたポストイットをメンバーに見せながら机にどんどん貼り出す
3. 似たような意見のポストイットをまとめていく



【進める上で大事なルール】

- ・人の意見を否定しない、遮らない！
- ・相槌を打ちながら良い雰囲気楽しく！



皆さんがもつともつと、自分たちの暮らすまちを「新発見」できるようにお手伝いをしていきます。(荒木)